

授業科目 義肢学特論

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	義肢
東 江 由起夫、月 城 慶 一 福 田 弘 和 他		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 義肢についての専門性を高めるために、義肢の構成要素であるソケットのデザインと特徴、部品の構造と機能、材料の特性と機能等についてより深く学ぶ。また最先端の義肢部品のシステム構成、調整方法等についても学ぶ。さらに義肢の評価方法や分析方法についても学び、これからの義肢に求められる機能や構造につて探求する。また特殊症例の義肢のアプローチや、製作適合技術についても探求し、価格構成について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。 2. 義肢のソケットのデザインと特徴、部品の構造と機能、材料の特性と機能等についてより深く理解している。 3. 最新の義肢部品のシステム構成、調整方法等について説明できる。 4. 義肢の評価方法、分析方法について説明できる。 5. これからの義肢に求めあれる機能を把握している。 6. 特殊症例に対する義肢のアプローチを把握している。 7. 特殊症例の価格構成について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）			1	説明
2	義肢ソケットの特徴と機能			2	講義
3	義肢部品の種類、機能、構造、特性			2, 3	講義
4	最新の義肢部品、システム構成、調整方法			3	講義
5	義肢の評価方法、分析方法			4	講義
6	義肢に求めあれる機能			5	講義
7	特殊症例に対するアプローチと適合技術、価格構成			6, 7	講義
8	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		義肢学 日本義肢装具学会監修	澤村誠志編、鋤園栄一ほか 監修	医歯薬出版	1988
		参考書	切断と義肢 澤村誠志	医歯薬出版	1999
その他の資料					
【評価方法】 最終筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%		【履修上の留意点】 原則、授業の1/3までの欠席の者は、科目評価資格を失うものとする。 遅刻2回で1回の欠席とする。 最終評価から1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点とする。			